

**令和 2 年度
第 2 回滝沢市国民健康保険
運営協議会
審議案件説明書**

【資料１・資料２】

令和元年度滝沢市国民健康保険特別会計決算について

1 歳入歳出決算の概要

令和元年度滝沢市国民健康保険特別会計の歳入歳出決算の状況は、歳入が 48 億 3,773 万 4,749 円、歳出が 47 億 9,149 万 5,201 円であります。

歳入から歳出を差し引いた歳入歳出差引額は 4,623 万 9,548 円で、前年度に比べると 64 万 1,145 円（1.4%）増加しました。

基金繰入金や繰越金、基金積立金を除いた実質収支額（単年度収支）は 4,652 万 5,855 円の赤字となり、前年度に比べると 1,653 万 196 円（55.1%）赤字が増加しました。

○歳入歳出決算の概要

区分	令和元年度 A	平成 30 年度 B	比較増減	
			A-B=C	C/B
歳入決算額 a	4,837,734,749	4,972,106,408	△ 134,371,659	-2.7%
歳出決算額 b	4,791,495,201	4,926,508,005	△ 135,012,804	-2.7%
歳入歳出差引額 a-b=c	46,239,548	45,598,403	641,145	1.4%
基金繰入金	89,349,000	26,324,000	63,025,000	239.4%
繰越金	45,598,403	270,356,062	△ 224,757,659	-83.1%
基金積立金	△ 42,182,000	△ 221,086,000	178,904,000	-80.9%
小計 d	92,765,403	75,594,062	17,171,341	22.7%
実質収支額 c-d	△ 46,525,855	△ 29,995,659	△ 16,530,196	55.1%

2 歳入決算の概況

令和元年度国民健康保険特別会計の歳入決算の状況は、予算現額 48 億 5,575 万 2000 円、調定額 49 億 4,637 万 2,586 円、収入済額 48 億 3,773 万 4,749 円、不納欠損額 203 万 1,341 円、還付未済額 145 万 800 円、収入未済額 1 億 805 万 7,296 円であります。

・収入済額 48 億 3,773 万 4,749 円は、前年度より 1 億 3,437 万 1,659 円（-2.7%）減少しました。

・不納欠損額 203 万 1,341 円は、前年度より 842 万 2,418 円（-80.6%）減少しました。

・収入未済額 1 億 805 万 7,296 円は、前年度より 1,009 万 8,447 円（-8.5%）減少しました。

・予算現額に対する収入済額の割合は 99.6%で、前年度を 0.7 ポイント下回りました。

・調定額に対する収入率 97.8%は、前年度より 0.3 ポイント上回りました。

○歳入決算の状況

区分	令和元年度 A	平成 30 年度 B	比較増減	
			A-B=C	C/B
予算現額 a	4,855,752,000	4,955,965,000	△ 100,213,000	-2.0%
調定額 b	4,946,372,586	5,099,433,010	△ 153,060,424	-3.0%
収入済額 c	4,837,734,749	4,972,106,408	△ 134,371,659	-2.7%
不納欠損額 d	2,031,341	10,453,759	△ 8,422,418	-80.6%
還付未済額 e	1,450,800	1,282,900	167,900	13.1%
収入未済額 b-c-d+e	108,057,296	118,155,743	△ 10,098,447	-8.5%
予算現額に対する収入率 c/a	99.6%	100.3%	-0.7%	-0.7%
調定額に対する収入率 c/b	97.8%	97.5%	0.3%	0.3%

○収入の状況

区分	令和元年度 A	平成 30 年度 B	比較増減	
			A-B=C	C/B
1 款：国民健康保険税	918,980,671	960,683,498	△ 41,702,827	-4.3%
2 款：使用料及び手数料	670,298	691,780	△ 21,482	-3.1%
3 款：国庫支出金	111,000	163,000	△ 52,000	-31.9%
4 款：県支出金	3,374,096,525	3,342,949,422	31,147,103	0.9%
5 款：財産収入	83,372	82,917	455	0.5%
6 款 1 項 1 目 1 節：保険基盤安定繰入金（保険料軽減分）	166,482,690	169,296,140	△ 2,813,450	-1.7%
6 款 1 項 1 目 2 節：保険基盤安定繰入金（保険者支援分）	91,811,538	92,975,119	△ 1,163,581	-1.3%
6 款 1 項 1 目 3 節：職員給与費等繰入金	109,446,313	78,315,804	31,130,509	39.7%
6 款 1 項 1 目 4 節：出産育児一時金繰入金	8,960,000	6,800,000	2,160,000	31.8%
6 款 2 項：基金繰入金	89,349,000	26,324,000	63,025,000	239.4%
7 款：繰越金	45,598,403	270,356,062	△ 224,757,659	-83.1%
8 款：諸収入	32,144,939	23,468,666	8,676,273	37.0%
収入合計	4,837,734,749	4,972,106,408	△ 134,371,659	-2.7%

○1 款：国民健康保険税

- ・決算額は 9 億 1,898 万 671 円で、対前年比では 4,170 万 2,827 円の減。
 - ・このうち、一般被保険者分の決算額は 9 億 1,774 万 4,134 円で、対前年比では 3,697 万 2,003 円の減。
 - ・また、退職被保険者分の決算額は 123 万 6,537 円で、対前年比では 473 万 824 円の減。
- なお、退職者医療制度は令和 2 年 3 月で廃止となり、令和 2 年度以降は過誤返戻分の調整や月遅れ請求分の支払いとなる。
- ・国保被保険者が微減傾向であること、また、被保険者の高齢者率が増加し、結果として年金受給者の割合が増加していることなどによる減。

○ 2 款：使用料及び手数料

- ・決算額は 67 万 298 円で、対前年比では 2 万 1,482 円の減。
- ・決算額は、全額が督促手数料。

○ 3 款：国庫支出金

- ・決算額は 11 万 1,000 円で、対前年比では 5 万 2,000 円の減。
- ・東日本大震災の福島県の帰宅困難区域の方に係る国保税減免分と自己負担額助成に係る補助金。

○ 4 款：県支出金

- ・決算額は 33 億 7,409 万 6,525 円で、対前年比では 3,114 万 7,103 円の増。
- ・国の交付金・補助金、社会保険診療支払基金の交付金や県内市町村が県に納める事業費納付金などから、県から市町村国保に支払われる交付金。

○ 5 款：財産収入

- ・決算額は 8 万 3,372 円で、対前年比では 455 円の増。
- ・財政調整基金積立金の預金利子。

○ 6 款 1 項 1 目 1 節：保険基盤安定繰入金（保険料軽減分）

- ・決算額は 1 億 6,648 万 2,690 円で、対前年比では 281 万 3,450 円の減。
- ・国民健康保険税の法定軽減分に係る繰入金。（県 3 / 4、市 1 / 4）

○ 6 款 1 項 1 目 2 節：保険基盤安定繰入金（保険者支援分）

- ・決算額は 9,181 万 1,538 円で、対前年比では 116 万 3,581 円の減。
- ・応能保険税の負担能力応じた一定割合分に係る繰入金。（国 1 / 2、県 1 / 4、市 1 / 4）

○ 6 款 1 項 1 目 3 節：職員給与費等繰入金

- ・決算額は 1 億 944 万 6,313 円で、対前年比では 3,113 万 509 円の増。
- ・「市町村国保事務処理標準システム」の導入経費などによる増。

○ 6 款 1 項 1 目 4 節：出産育児一時金繰入金

- ・決算額は 896 万円で、対前年比では 216 万円の増。
- ・出産育児一時金に係る繰入金。（市 2 / 3）

○ 6 款 2 項：基金繰入金

- ・決算額は 8,934 万 9,000 円で、対前年比では 6,302 万 5,000 円の増。
- ・令和元年度予算編成での財源不足分を財政調整基金から取り崩した繰入金。

○ 7 款：繰越金

- ・決算額は 4,559 万 8,403 円で、対前年比では 2 億 2,475 万 7,659 円の減。
- ・平成 30 年度決算は、国保広域化前の制度が入り混じるなかでの決算となり、結果として大きな繰越金が発生したため基金積立金も大きかった。しかし、令和元年度決算では、国保広域化後本来の決算として、繰越金が大きく減少した。

○ 8 款：諸収入

- ・決算額は 3,214 万 4,939 円で、対前年比では 867 万 6,273 円の増。
- ・このうち、雑入が対前年比で 633 万 7,302 円の増となっているが、主に国保連からの返還金で、平成 31 年 2 月診療分の診療報酬差額分の返還金 451 万 733 円と平成 30 年度の審査支払手数料の精算返還金 140 万 3,490 円などである。

3 歳出決算の概況

令和元年度国民健康保険特別会計の歳出決算の状況は、予算現額 48 億 5,575 万 2000 円、支出済額 47 億 9,149 万 5,201 円、不用額 6,425 万 6,799 円であります。

- ・支出済額 47 億 9,149 万 5,201 円は、前年度より 1 億 3,501 万 2,804 円（-2.7%）減少しました。
- ・不用額 6,425 万 6,799 円は、前年度より 3,479 万 9,804 円（118.1%）増加しました。
- ・予算現額に対する執行率 98.7%は、前年度より 0.7 ポイント下回りました。

○歳出決算の状況

区分	令和元年度 A	平成 30 年度 B	比較増減	
			A-B=C	C/B
予算現額 a	4,855,752,000	4,955,965,000	△ 100,213,000	-2.0%
支出済額 b	4,791,495,201	4,926,508,005	△ 135,012,804	-2.7%
不用額 a-b	64,256,799	29,456,995	34,799,804	118.1%
予算現額に対する執行率 b/a	98.7%	99.4%	-0.7%	-0.7%

○歳出の状況

区分	令和元年度 A	平成 30 年度 B	比較増減	
			A-B=C	C/B
1 款：総務費	127,290,326	85,041,212	42,249,114	49.7%
2 款：保険給付費	3,299,447,116	3,244,862,484	54,584,632	1.7%
3 款：国民健康保険事業費納付金	1,250,157,609	1,263,797,606	△ 13,639,997	-1.1%
4 款：共同事業拠出金	860	931	△ 71	-7.6%
5 款 1 項：保健事業費	16,751,587	16,515,727	235,860	1.4%
5 款 2 項：特定健康診査等事業費	41,971,599	42,226,044	△ 254,445	-0.6%
6 款：基金等積立金	42,182,000	221,086,000	△ 178,904,000	-80.9%
7 款：公債費	2,876	2,301	575	25.0%
8 款：諸支出金	13,691,228	52,975,700	△ 39,284,472	-74.2%
支出合計 =b	4,791,495,201	4,926,508,005	△ 135,012,804	-2.7%

○1 款：総務費

- ・決算額は 1 億 2,729 万 326 円で、対前年比では 4,224 万 9,114 円の増。
- ・「市町村国保事務処理標準システム」の導入経費などによる増。

○2 款：保険給付費

- ・決算額は 32 億 9,944 万 7,116 円で、対前年比では 5,458 万 4,632 円の増。
- ・診療報酬と薬価改定による増である。

○3 款：国民健康保険事業費納付金

- ・決算額は 12 億 5,015 万 7,609 円で、対前年比では 1,363 万 9,997 円の減。
- ・市町村国保が県に支払う納付金。当初予算編成時までに納付金額が確定し、年度途中での変更はなく、翌年度に精算される。

○ 4 款：共同事業拠出金

・決算額は 860 円で、対前年比では 71 円の減。

○ 5 款 1 項：保健事業費

・決算額は 1,675 万 1,587 円で、対前年比では 23 万 5,860 円の増。

○ 5 款 2 項：特定健康診査等事業費

・決算額は 4,197 万 1,599 円で、対前年比では 25 万 4,445 円の減。

○ 6 款：基金積立金

・決算額は 4,218 万 2,000 円で、対前年比では 1 億 7,890 万 4,000 円の減。

・平成 30 年度決算は、国保広域化前の制度が入り混じるなかでの決算となり、結果として大きな繰越金が発生したため基金積立金も大きかった。しかし、令和元年度決算で、国保広域化後本来の結果として、繰越金が大きく減少したため、基金積立金も減少した。

○ 7 款：公債費

・決算額は 2,876 円で、対前年比では 575 円の減。

○ 8 款：諸支出金

・決算額は 1,369 万 1,228 円で、対前年比では 3,928 万 4,472 円の減。

・平成 30 年度は国保広域化前の平成 29 年度の療養給付費等負担金に係る償還金を計上していたが、令和元年度以降は、医療費に係る国などの補助金・交付金が 3 款の国民健康保険事業費納付金の算定の中で精算されるため、8 款での予算計上がなくなった。

4 財政調整基金の概況

財政調整基金の状況は、年度末現在高は 7 億 8,541 万円で、対前年比では 1 億 3,173 万 7,000 円の増、出納閉鎖時現在高は 8 億 2,759 万 2,000 円で、対前年比では 4,716 万 7,000 円の減であります。

年度	期中取崩額	年度末 現在高 翌 3/31 現在	年度末 現在高 増減	出納閉鎖期 積立額	出納閉鎖時 現在高 翌 5/31 現在	出納閉鎖時 現在高 増減
H29	66,324,000	470,015,000	—	209,982,000	679,997,000	—
H30	26,324,000	653,673,000	183,658,000	221,086,000	874,759,000	194,762,000
R01	89,349,000	785,410,000	131,737,000	42,182,000	827,592,000	-47,167,000

【資料 10】

令和 2 年度滝沢市国民健康保険特別会計・歳入補正予算説明書

1 第 2 号補正（9 月補正） 4,685 万 1,000 円の増額補正

6 款：繰入金

・補正額は 61 万 3,000 円の増。職員人件費補正に係る職員給与費繰入金の増額です。

7 款：繰越金

・補正額は 4,623 万 8,000 円の増。令和元年度決算に係る繰越金です。

【資料 11】

令和 2 年度滝沢市国民健康保険特別会計・歳出補正予算説明書

1 第 2 号補正（9 月補正） 4,685 万 1,000 円の増額補正

1 款：総務費

・補正額は 61 万 3,000 円の増。人件費（時間外手当）の増額です。

6 款：基金積立金

・補正額は 3,451 万円の増。令和元年度決算に係る繰越金のうち交付金の返還金などを差し引いた本金額を基金に積み立てるものです。

・現在の基金積立額は 8 億 2,759 万 2,000 円ですが、今年の当初予算において 1 億 2,277 万 1,000 円を取り崩すことにしており、その後本金額の積立を行うことから来年の 5 月末の基金残額は 7 億 3,933 万 2,000 円になる見込みです。

8 款：諸支出金

・補正額は 1,172 万 8,000 円の増。

・1 項の償還金の補正額は 774 万 1,000 円の増。内訳は、5 目の保険給付費等交付金（普通交付金）返還金が 582 万 7,000 円の増、6 目償還金が 191 万 4,000 円の増です。

・2 項 1 目の一般会計繰出金の補正額は 398 万 7,000 円の増。内訳は、職員給与費等繰入金返還金が 145 万 6,000 円、出産育児一時金繰入金返還金が 253 万円です。